

赤谷プロジェクト・サポーター要項

2013年11月15日

環境教育WG

赤谷プロジェクト（正式名称：三国山地／赤谷川・生物多様性復元計画）は、群馬県みなかみ町北部に広がる1万ヘクタール（10km 四方）の国有林“赤谷の森”を、地元住民で組織する「赤谷プロジェクト地域協議会」、林野庁関東森林管理局、(財)日本自然保護協会の3つのセクターが中核となって共同管理していくプロジェクトです。

赤谷プロジェクトは、「生物多様性の復元」「持続的な地域づくり」という二大目標の実現と、地域社会・政府機関・公益法人（NGO）の3つのセクターが主体的に協働し地域環境管理を行うモデルとなることを目指しています。

赤谷プロジェクトでは、この理念に共感・共鳴し、プロジェクトの目標実現に協力して頂ける方を募っています。21世紀の“公益”を形づくる赤谷プロジェクトにご参加下さい。

1. 赤谷プロジェクト・サポーターについて

(1) 赤谷プロジェクト・サポーターとは

赤谷プロジェクト・サポーターとは、

- ①赤谷プロジェクトの理念に共感し、プロジェクト推進に協力して下さる方、
- ②ボランティアな立場でプロジェクトの活動に加わって下さる方、
- ③サポーターとして、“公益”を担う意識を持って活動することを自覚して下さる方

の3つの条件に同意し、『赤谷プロジェクト・サポーター』（以下「サポーター」）として登録して頂いた方です。なお、サポーター登録は成人の方に限らせて頂きます。

赤谷プロジェクトでは以下のような方々にサポーター登録をしていただきたいと考えています。

- ・日頃のデスクワークの疲れを赤谷の森の中での活動でリフレッシュしたい人
- ・様々な自然体験をしたい人、森のことを学びたい人、森の管理に貢献したい人
- ・赤谷の森の植物のこと、樹木のこと、動物のことなどすべてを知り尽くしたい人
- ・赤谷の森に行ける機会は少ないけれど、都合のついたときに仲間と一緒に活動や赤谷の森の自然を楽しみたい人
- ・赤谷の森には行けないけれど、データ整理などを手伝いながら赤谷の森を知りたい人

など

(2) サポーターになると

①情報提供が受けられます

サポーターに登録していただいた方には、「赤谷プロジェクト・メールマガジン(仮称)」等を通じて“赤谷の森”の様子や、赤谷プロジェクト(以下「プロジェクト」とします。)の進捗状況について情報提供致します。

②プロジェクト活動に参加できます

毎月1回赤谷の森で行う「赤谷の日」(2. 赤谷の日について 参照)、各ワーキンググループ(以下、WG)のモニタリング活動などの現地での活動や自然環境データの整理、HPの編集など、プロジェクト活動に協力いただける機会などをご案内します。

③プロジェクト活動に友人等を誘って頂くことができます

現地で行われる「赤谷の日」や各WGのモニタリング活動等に家族や友人・知人を誘うことができます。なお、未成年の方はサポーター等の引率が必要です。

④赤谷の森で調査活動等を主催できます

赤谷の森をフィールドとした活動を企画・実行することができます。一定の条件を満たした活動であれば「チーム企画活動」(3. チーム企画活動について 参照)として、いきもの村の建物や調査道具の利用などがあります。

(3) サポーター登録について

メール・FAX等で別紙1の「赤谷プロジェクト・サポーター登録申込書」を総合事務局宛に送信して下さい。また、電話での登録も可能ですので、その場合は以下の項目について総合事務局にご連絡下さい。

①氏名、住所、電話番号、メールアドレス

②サポーター登録の条件(上記(1)参照)に同意している意思表示

なお、登録の解除は随時可能ですので、その場合は総合事務局にご連絡下さい。

(4) サポーター活動中の安全確保について

サポーター活動には、赤谷プロジェクトが主催するもの、日本自然保護協会等プロジェクト3セクターのいずれかが主催するもの、チーム企画活動、個人の自主的な活動があります。

サポーター活動中の安全は、いずれの場合も自己責任のもとに確保して頂きます。自身の体力等を踏まえ、活動計画を立てるとともに、林道や森林内を歩く際の危険回避、活動中の体調管理等を十分に行って下さい。

(5) サポーター活動中の保険について

赤谷プロジェクト及び、日本自然保護協会等プロジェクト3セクターのいずれかが主催する活動については、主催者が保険加入手続きを行います。

それ以外の活動（チーム企画活動、個人の自主的な活動）を行う場合は、個人で野外活動保険等に加入した上で活動されることを、強くお勧めします。

なお、赤谷プロジェクト等が主催する活動について、保険加入手続きの都合から主催者が指定する〆切日までに参加表明が必要です。連絡がない場合は保険に加入ができませんのでご了承ください。

2. 赤谷の日について

(1) 赤谷の日とは

「赤谷の日」とは、原則毎月第1土曜日から翌日曜日の朝まで行っている赤谷プロジェクトの活動支援日です。多くの方たちに赤谷プロジェクトを知っていただくための入り口でもあります。サポーターと共に、そのご家族、ご友人もお誘い頂けます。

赤谷プロジェクトの活動拠点であるいきもの村に集まり、各WGが実施しているモニタリング活動や、いきもの村の環境整備等を実施しています。

(2) 「赤谷の日」の主催者等

「赤谷の日」は赤谷プロジェクトが主催します。当日の運営は、赤谷プロジェクト地域協議会、日本自然保護協会、赤谷森林ふれあい推進センターの3者が持ち回りで行います。各回の活動メニューについては前月の赤谷の日までに運営担当者からご案内します。

(3) いきもの村の利用

いきもの村には、調査用具の保管やミーティングに使う「村の家」と、作業・活動の休憩場所である「たくみ小屋」があります。「赤谷の日」には、どちらも使う事ができます。「赤谷の日」終了後は、いきもの村内は、自由に散策できますが、建物内には入れなくなります（「チーム企画活動」での利用を除く）。

(4) 「赤谷の日」終了後について

「赤谷の日」は日曜日の朝7時に終了します。その後は自由行動となりますので「チーム企画活動」へのご参加や、個人やご家族の自主的な活動などにご利用下さい。また、日本自然保護協会等プロジェクト3セクターがプログラムを用意することがあります。

3. チーム企画活動について

(1) チーム企画活動とは

サポーター等が自主的に「赤谷の森」で行う活動で、

- ①プロジェクトの目標である「生物多様性の復元」、「持続的な地域づくり」に資する活動であること
- ②活動の成果について、プロジェクトと情報共有できるものであること
- ③2人以上のサポーターが参加する活動であること
- ④活動内容がチーム内で完結できるものであること

を条件とし、「別紙3 チーム企画活動一覧」に登録された活動をいいます。なお、活動内容がプロジェクトの理念や方針に合致しているか、各種法規制に抵触している部分がないか、国有林の管理・経営上支障がないかについては総合事務局で確認させていただきます。チーム企画活動の実施にあたっては、いきもの村の建物（村の家、たくみ小屋、倉庫等）や道具類を利用することができます。

(2) チーム企画活動を実施するには

チーム企画活動を実施したいと思われた場合には、別紙2「チーム企画活動計画書」を総合事務局にご提出下さい。^注

総合事務局で上記(1)の条件を満たしているか等を確認させていただきます。なお、森林整備事業等との関係から内容の修正をお願いする場合があります。

計画書の内容が(1)の条件を満たしていること等が確認され次第、別紙3「チーム企画活動一覧」に登録し、その後、提案者に計画が登録された旨を連絡するとともに、サポーター等関係者にお知らせします。

注：活動計画書がうまく書けない場合は総合事務局にお気軽にご相談下さい。

(3) 「チーム企画活動」を実施する場合には

総合事務局にご連絡いただければ、総合事務局からメールマガジンにお知らせします。直接、サポーターMLでお知らせいただいても結構です。活動報告や、仲間集めにご利用ください。

赤谷の日の後に「チーム企画活動」を実施する場合、「赤谷の日」の3週間までに総合事務局にご連絡頂ければ、赤谷の日の案内と一緒にご案内致します。

(4) 「チーム企画活動」実施中の建物等の管理について

いきもの村の利用は、“いきもの村利用ルール（別紙）”に沿って行って下さい。火の元や安全の確認、廃棄物の処理は確実にお願い致します。いきもの村を離れられる際は、建物全ての施錠を確認して下さい。又、道具の破損等があった場合は、総合事務局に速やかにご連絡下さい。

(5) 活動報告について

チーム企画活動の節目ごとに活動報告を行って下さい。

活動報告の方法については、赤谷の日での報告、報告書、赤谷プロジェクト・メールマガジンやMLへの投稿など方法は問いません。

4. 情報の提供と共有について

(1) 赤谷プロジェクト・メールマガジン(仮称)

メール環境のあるサポーター全員に配信します。

総合事務局から、「赤谷の日」等の開催情報のほか、“赤谷の森”の様子や、赤谷プロジェクトの活動予定についてお知らせします。

なお、メール環境が無い場合は、メールマガジンと同様の頻度で情報のご提供はできませんが、一部をFAXや郵送(郵送費はご負担頂きます)で行うことも検討致しますのでご相談下さい。

(2) メーリングリストでの意見交換(登録は任意です。)

主にサポーターとプロジェクト関係者の意見交換を目的として、サポーター・メーリングリストを設置しています。ここでは、赤谷の森に関する意見交換、チーム企画活動の相談、参加者の募集、活動状況等の報告等が行えます。

なお、メーリングリストにおける他人への誹謗・中傷、政治的活動は禁止します。参加者全員が気持ちよく使えるよう協力をお願いします。

途中からの登録や解除も出来ますので、その場合は総合事務局までご連絡下さい。

4. 問い合わせ先

赤谷プロジェクト事務局

公益財団法人日本自然保護協会【総合事務局】

〒104-0033 東京都中央区新川1-16-10 ミトヨビル2F

TEL : 03-3553-4107 FAX : 03-3553-0139 Email : akaya@nacsj.or.jp

赤谷プロジェクト地域協議会

〒379-1404 群馬県利根郡みなかみ町相俣2577

TEL : 0278-66-0888 Kawafuru0888@gmail.com

林野庁関東森林管理局 赤谷森林ふれあい推進センター

〒378-0018 群馬県沼田市鍛冶町3923-1

TEL : 0278-60-1272 FAX : 0278-24-5562 Email : akaya_postmaster@rinya.maff.go.jp

<http://www.kanto.kokuyurin.go.jp/akaya/akayaproject/>

赤谷プロジェクト・サポーター登録申込書

平成 年 月 日

私は、

- ・赤谷プロジェクトの理念に共感し、プロジェクト推進に協力すること
 - ・ボランティアな立場でプロジェクトの活動に加わること
 - ・サポーターとして、“公益”を担う意識を持って活動することを自覚すること
- に同意し、赤谷プロジェクト・サポーターに申込みます。

○氏名：

○住所：

○電話番号：

○メールアドレス：

(メール環境がない場合は希望する連絡方法を記入して下さい。)

*毎月総合事務局から、赤谷の日の開催等についてメールマガジンでお知らせします。

*個人情報は皆様への連絡、情報提供と保険登録に使用します。

*個人情報は総合事務局 NACS-J が管理し、第三者へ提供することはありません。

○サポーター・メーリングリストへの登録

*途中からの登録や解除も出来ます。詳細は総合事務局までご連絡下さい。

希望する ・ 希望しない

○その他(赤谷プロジェクトに対する質問や意見などご自由にお書き下さい。)

平成 年 月 日

〇〇チーム企画活動計画書

提案者

○チーム企画活動の名称

○共同企画者

*リーダーに◎、サブリーダーに○をつけて下さい。なお、リーダー、サブリーダーは必ず決めて下さい。

○活動の目的と内容

*活動内容については、場所、活動時期等も含め出来るだけ具体的に記載して下さい。

○活動期間

*赤谷の森管理経営計画の計画期間 [2016年(平成28年)3月] を超えない範囲として下さい。

○期待する成果

<別紙2 記載例>

平成 25 年 5 月 5 日

木の実豊凶チーム企画活動計画書

申請者 赤谷一郎

○チーム企画活動の名称

木の実豊凶調査チーム

○共同企画者

*リーダーに◎、サブリーダーに○をつけて下さい。なお、リーダー、サブリーダーは必ず決めて下さい。

◎赤谷一郎、○豊凶二郎、南ヶ谷三郎、・・・・

○活動の目的と内容

*活動内容については、場所、活動時期等も含め出来るだけ具体的に記載して下さい。

木の実の豊凶は、感覚的な自然現象を数値化し、自然の仕組みを科学的に見ること・解説することのツールとして、環境教育や自然観察会の場で活用することを目的とします。

毎年5月に調査木の下に直径80cm程度の種子トラップを設置し、6月～11月の間は毎月トラップの中に落ちた木の実を調べ、その年の豊凶を判断します。11月に撤去します。調査木の位置は別紙の通りです。

また、毎月の調査では、周辺の木々と比較しながら、枝ぶり、花や葉のつき具合など木の健康状態も観察します。

○活動期間

*赤谷の森管理経営計画の計画期間を超えない範囲として下さい。

平成 25 年 5 月～平成 27 年 11 月

○期待する成果

豊凶調査の結果を使って、赤谷の森の来訪者に対し、森のしくみに関する理解を深めます。

チーム企画活動一覧

2016年3月22日更新

No.	名称	活動期間	毎年の活動期間	リーダー	サブリーダー	参加人数	備考
<例>							
	木の実豊凶調査チーム	H25.4 ~ H27.11	5月~11月	赤谷一郎	豊凶次郎	6人	
1	ホンダテンモニタリング調査	2014年4月 ~2016年3月	毎月	鈴木誠樹	青木邦夫 小濱義也	10人	[顧問] 足立高行
		2016年4月 ~2021年3月	毎月	鈴木誠樹	青木邦夫 小濱義也	10人	[顧問] 足立高行
2	赤谷の森学校	2015年4月 ~2016年3月	毎月	川端自人	長浜陽介	9人	
		2016年4月 ~2021年3月	毎月	川端自人	長浜陽介	10人	
3	南ヶ谷湿地モニタリング	2015年4月 ~2016年3月	積雪期以外	竹村秀雄	前田修 和田晴美	3人	
		2016年4月 ~2021年3月	積雪期以外	竹村秀雄	前田修 和田晴美	3人	